

川崎市教育委員会・大学等高等教育機関連携事業
2024年11月28日(木)開催 生涯学習講座のご案内

日時: 2024年11月28日(木) 17:45開場 18:00～19:30

場所: 東海道かわさき宿交流館

(川崎区本町1-8-4 4F集会室 044-280-7321 川崎駅徒歩10分)

参加費: 500円 (お申し込みは info@yoneyama.ac.jp 044-233-0025)

主催: 米山ファッション・ビジネス専門学校

講師: 武蔵野美術大学 芸術文化学科 教授

春原 史寛(すのはら ふみひろ)先生

講師プロフィール:

専門: 近現代日本美術史、博物館学、美術教育、ポップカルチャー研究

1978年長野県生まれ。筑波大学芸術専門学群芸術学専攻卒業

同大学院博士前期課程および博士後期課程人間総合科学研究科芸術専攻修了

財団法人大川美術館(群馬県桐生市)学芸員、山梨県立美術館および山梨県立博物館学芸員、群馬大学教育学部美術教育講座准教授を経て現職

芸術家・岡本太郎研究や日本における美術の受容史研究を行い、美術館・博物館や学校教育におけるアートプロジェクトなどの社会貢献活動を実践している。

講演内容: 芸術はどう社会に貢献できるかー社会における芸術の活用

——美術大学で考える社会で役立つ美術、芸術家・岡本太郎が芸術で変えようとした世界

近年、芸術祭やアートプロジェクトなどによる充実した地域振興や、より優れたビジネスの成果を生み出すためなど、社会における芸術の活用が盛んに実施されています。

アーティストやデザイナーを生み出してきた美術大学では、このような状況を背景として、今日、経済的価値や合理的・効率的な機能に注目した一般的な「役に立つ」、ではない芸術独自の社会的意義を追求しています。

本講座では、そのような美術大学の「いま」を紹介するとともに、戦後日本で芸術のイメージを印象づけてきた芸術家・岡本太郎にも言及し、1970年大阪万博における《太陽の塔》をはじめとした、岡本が社会に変化を起こそうとした活動もお話しし、芸術による社会貢献の可能性を考えます。

質疑応答: 美術大学について、また先生の活動について、さらに学芸員のご経験からの美術展のキュレーション(企画や展示など)のお話など、大変豊富な経歴をお持ちの先生ですので、ご参加の皆様から春原先生に質問する時間を設けています。

